

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 療育ルームストーリー

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	利用定員に配慮している	安全面に配慮しスペースを確保している
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	利用者様に対して適切な人数を配置して手すりの配置や視覚支援等のバリアフリー化を心がけている	今後も適切な配置数を確保していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	毎日ミーティングの際、気付いたことを基に案を出し合っている	合理的配慮ができるように人員を確保している
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	評価表を基に業務改善に努めている	必要な時には会議を開き改善に努めている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげてこの自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	弊社ホームページにて公開している	改善した点についても振り返りを行いより良いものを目指していく
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	#####	#####	第三者による外部評価機関を探している	第三者による外部評価機関が見つければ、さらに業務改善につながるように活
	7 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	一年を通して研修計画を立てて実施している	研修と別に委員会活動(虐待防止・身体拘束適正化、防災、感染症対策、業務改善)にて法人内の研修を行っている
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	懇談やアンケートでアセスメントを行いニーズに合わせた支援計画になるように考え作成している	個別の支援計画に、利用者様や保護者様の意向や日々の話し合いの内容、課題を反映している
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	心理士や医師の診断内容を利用している	今後、事業所でも導入できるように検討中
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	チームで意見を出し合いプログラムの内容を考えている	PDCAサイクルに基づきチームで立案している
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	毎月新たな活動を2~3個追加している	予定を組む際に同じ活動にならないよう、又領域が重ならないように工夫している
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	個々に応じて利用者様や保護者様と相談して決めている	支援計画に基づいて設定し支援計画にも記載している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用者様の状況に応じて作成している	利用者様の状況や保護者様のご要望を十分聞き取り作成している
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日支援前に、ミーティングを行い利用者様の伝達や活動内容、役割分担、支援内容等確認している	役割を果たせるように、業務量など配慮して分担している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	業務終了後は送迎の関係で打ち合わせが困難なため、翌朝に前日の振り返り等を行っている	問題が起きた場合や緊急時は、会議を招集する体制を整えている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日記録をとっておりミーティングや支援方法の見直しに役立っている	支援計画を横に置いて支援し分かり易く記載する事を心がけている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	常にモニタリングを行い半年に一度支援計画に反映している	達成できなかった原因を把握して目標や内容の見直しを行っている
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	自立支援、日常生活の充実等基本活動を複数組み合わせ支援になっている	基本活動の「地域交流の機会の提供」についてより多く機会を作れるように検討している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	ふさわしい者が参画し、その後職員間で共有している	日程を合わせて必ず参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	下校表をもらったり、行事や当日の様子についても連絡を取り合っている	送迎時だけでなく、常に連絡を取り合うようにしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	合理的配慮ができる準備がある、現在医療的ケアが必要な利用者様の利用はない	現在は医療的ケアが必要な利用者様は、いないが利用がある時は専門医の意見を取り入れて療育にあたるようにしている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努	100%	0%	支援内容の共有と支援方法についても共有している	ケース会議以外にも必要に応じて連絡を取り合うようにしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	支援内容の共有と支援方法についても共有している	必要に応じて連絡を取り合うようにしている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	連携しており研修を受けている	連携は常に行っており助言を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	現在は行っていないが今後については、検討する	保護者様の要望を聞きながら交流の機会を探る
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	研修等に積極的に参加しておりその後職員間で共有している	継続して参加できるように日程調整する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎の際にその日の出来事や最近の状況をお伝えし支援に活かしている	緊急時などは電話でも連絡ができる体制を整えている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	困りごとがあった場合には助言等の支援を行っている	定期的にペアレント・トレーニングのプログラムが組めるかどうか検討中	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時、詳しく説明しご理解いただいたうえで署名・捺印をいただいている	不明点がある場合にも、電話等でも対応している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	悩み等相談があった際は、職員で話し合い助言や支援を行っている	悩みや問題の掘り起しができるように保護者様との関係構築に動いている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	父母の会や保護者会を開催できるように模索中	保護者様同士の連携を支援できるような方法を検討し、地域支援につながるような開かれた事業所を目指す
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	速やかに会議ができる体制を整え、できるだけ要望に沿った形で適切に対応している	迅速に会議を招集できるように体制を整えている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月会報を発行して活動などの情報発信をしている	会報の他に行事予定等のプリントを発行している
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	情報の持ち出し禁止の周知と個人情報に関する研修を行っている	SNS等の情報漏えいについても十分気を配り防止に努めている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	個別に合理的配慮を行ったり、視覚支援等利用者様の特性に合わせて配慮を行い意思疎通を心がけている	関係各所と連携し情報伝達に努めている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	現在は行っていないが今後については、検討中	地域支援につながるような開かれた事業所を目指す

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	それぞれ委員会を設置し各マニュアルを策定している	保護者様にも会報等でお知らせするようにしている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	半年に一度訓練を行っている	利用者様の安全に配慮しながら訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、マニュアル及び指針を作成し運用し	研修を行いながら、全職員に周知徹底し虐待防止に努めている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束に関する適正化委員会を設置し、マニュアル及び指針を作成し運用している	研修を行いながら、全職員に周知徹底している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師及び保護者様と連携をとり対応している	食物アレルギー以外にも対応できるように、医師の指示書を職員間で共有している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎日ノートに記載し研修を行い、危険を回避できるように取り組んでいる	定期的に事例をまとめ職員全体で話し合い、原因を分析して事故につながらないよう研修を行っている